



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 萬世電機株式会社  
 コード番号 7565 URL <http://www.mansei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 占部 正浩  
 (氏名) 村山 憲司  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6454-8211  
 平成26年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,000	0.4	312	26.7	335	32.5	193	△2.3
26年3月期第2四半期	9,964	0.6	246	△10.3	253	0.8	198	86.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 314百万円 (74.4%) 26年3月期第2四半期 180百万円 (128.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	42.22	—
26年3月期第2四半期	43.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,164	8,179	53.9
26年3月期	14,728	7,902	53.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,179百万円 26年3月期 7,902百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	7.8	520	△2.9	520	△4.0	310	△18.1	67.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	4,600,000 株	26年3月期	4,600,000 株
27年3月期2Q	14,618 株	26年3月期	14,618 株
27年3月期2Q	4,585,382 株	26年3月期2Q	4,586,199 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外における政情不安等の懸念材料もありましたが、経済政策や金融緩和策により企業収益や雇用情勢が改善し、国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、企業収益の向上を背景に設備投資に回復の兆しが表れてきました。

このような状況の中、当社グループは既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高100億0百万円(前年同期比0.4%増)、売上総利益率の改善により営業利益3億12百万円(同比26.7%増)、経常利益3億35百万円(同比32.5%増)、四半期純利益1億93百万円(同比2.3%減、前年同期は投資有価証券償還益59百万円を特別利益に計上)となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前年同期	当期	増減金額	前年同期比
電気機器・産業用システム	4,542	5,067	525	11.6% 増
電子デバイス・情報通信機器	3,839	2,840	△998	26.0% 減
設備機器	1,582	2,092	509	32.2% 増
合計	9,964	10,000	36	0.4% 増

(電気機器・産業用システム)

電気機器・産業用システムにつきましては、受配電用電機品が堅調に推移し、また国内製造業などでの設備更新の増加や大型案件の受注によりFA機器が伸長しました。この結果、部門全体では売上高50億67百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

(電子デバイス・情報通信機器)

電子デバイスにつきましては、パワー半導体は堅調に推移しました。情報通信機器につきましては、アミューズメント向け案件が剥落しました。この結果、部門全体では売上高28億40百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

(設備機器)

設備機器につきましては、工場・ビルにおける新築・リニューアル需要が増加し、業務用空調機及び関連工事が伸長しました。この結果、部門全体では売上高20億92百万円(前年同期比32.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は151億64百万円(前連結会計年度末比4億35百万円増)となりました。これは主に建設仮勘定を含む有形固定資産が5億86百万円増加したことによるものです。

負債合計は69億84百万円(同比1億57百万円増)となりました。これは主に役員退職慰労引当金は1億76百万円減少しましたが、その他流動負債が2億94百万円増加したことによるものです。

純資産合計は81億79百万円(同比2億77百万円増)となりました。これは主に利益剰余金が1億56百万円、その他有価証券評価差額金が1億20百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は20億20百万円(前連結会計年度末比1億92百万円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は81百万円(前年同四半期は3億46百万円の使用)となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少により資金は1億76百万円減少しましたが、税金等調整前四半期純利益の計上により資金が3億35百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2億36百万円(前年同四半期は1億50百万円の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は40百万円(前年同四半期は38百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、計算に用いる割引率を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,713,056	3,520,684
受取手形及び売掛金	7,829,234	7,694,164
商品	582,339	665,251
繰延税金資産	84,748	71,451
未収入金	570,542	514,625
その他	32,816	68,814
貸倒引当金	△6,263	△3,848
流動資産合計	12,806,473	12,531,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	121,335	117,010
土地	129,650	129,650
建設仮勘定	118,800	711,541
その他(純額)	8,758	7,013
有形固定資産合計	378,544	965,215
無形固定資産	19,686	14,029
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059,971	1,223,053
繰延税金資産	46,584	—
その他	442,659	448,010
貸倒引当金	△25,472	△17,411
投資その他の資産合計	1,523,743	1,653,651
固定資産合計	1,921,973	2,632,896
資産合計	14,728,446	15,164,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,462,286	5,566,729
短期借入金	354,257	350,000
未払法人税等	158,708	60,996
賞与引当金	154,169	138,459
役員賞与引当金	25,000	13,150
その他	235,122	529,892
流動負債合計	6,389,544	6,659,227
固定負債		
役員退職慰労引当金	248,200	72,150
退職給付に係る負債	119,041	110,323
繰延税金負債	—	71,754
その他	69,574	70,891
固定負債合計	436,816	325,120
負債合計	6,826,360	6,984,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	5,886,043	6,042,936
自己株式	△8,398	△8,398
株主資本合計	7,721,204	7,878,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179,738	300,161
為替換算調整勘定	△6,993	△5,564
退職給付に係る調整累計額	8,136	6,997
その他の包括利益累計額合計	180,881	301,594
純資産合計	7,902,086	8,179,692
負債純資産合計	14,728,446	15,164,040

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,964,850	10,000,991
売上原価	8,685,484	8,624,342
売上総利益	1,279,366	1,376,649
販売費及び一般管理費	1,032,447	1,063,784
営業利益	246,919	312,865
営業外収益		
受取利息	9,268	10,628
受取配当金	4,733	6,608
受取保険金	—	10,400
為替差益	6,326	5,167
その他	3,257	2,724
営業外収益合計	23,586	35,528
営業外費用		
支払利息	1,994	1,416
売上割引	6,393	7,849
投資事業組合運用損	7,079	646
開業費	—	1,845
その他	1,611	904
営業外費用合計	17,079	12,661
経常利益	253,425	335,731
特別利益		
固定資産売却益	5,747	—
投資有価証券売却益	—	115
投資有価証券償還益	59,911	—
特別利益合計	65,658	115
特別損失		
固定資産除却損	—	83
特別損失合計	—	83
税金等調整前四半期純利益	319,084	335,763
法人税、住民税及び事業税	108,604	58,301
法人税等調整額	12,334	83,886
法人税等合計	120,938	142,187
少数株主損益調整前四半期純利益	198,145	193,576
四半期純利益	198,145	193,576



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198,145	193,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,668	120,423
為替換算調整勘定	△286	1,428
退職給付に係る調整額	—	△1,139
その他の包括利益合計	△17,955	120,712
四半期包括利益	180,190	314,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,190	314,288
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	319,084	335,763
減価償却費	11,908	11,676
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,900	△176,050
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,205	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△8,717
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,500	△11,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,278	△15,709
受取利息及び受取配当金	△14,002	△17,236
支払利息	1,994	1,416
為替差損益 (△は益)	△657	△2,828
投資事業組合運用損益 (△は益)	7,079	646
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△115
投資有価証券償還損益 (△は益)	△59,911	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,427,875	220,967
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△119,194	△82,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,702,882	△10,880
その他	△69,878	△19,043
小計	△226,667	225,952
利息及び配当金の受取額	15,914	14,419
利息の支払額	△1,799	△1,214
法人税等の支払額	△134,388	△157,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	△346,941	81,437
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	1,800,000	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△50,925	△230,742
有形固定資産の売却による収入	41,384	—
無形固定資産の取得による支出	△600	—
投資有価証券の取得による支出	△704	△6,728
投資有価証券の売却による収入	—	282
投資有価証券の償還による収入	150,000	—
投資事業組合からの分配による収入	15,000	11,930
その他	△3,505	△11,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,648	△236,387
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,729	△4,257
配当金の支払額	△45,861	△36,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,132	△40,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,591	3,518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230,833	△192,371
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,449	2,213,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,125,615	2,020,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う商品・サービスを基礎として包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しているため、その種類・性質の類似性を考慮して、「電気機器・産業用システム」、「電子デバイス・情報通信機器」、及び「設備機器」の3つを報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・産業用システム	電子デバイス・情報通信機器	設備機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,542	3,839	1,582	9,964	—	9,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,542	3,839	1,582	9,964	—	9,964
セグメント利益(営業利益)	134	105	39	279	△32	246

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・産業用システム	電子デバイス・情報通信機器	設備機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,067	2,840	2,092	10,000	—	10,000	—	10,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,067	2,840	2,092	10,000	—	10,000	—	10,000
セグメント利益(営業利益)	202	29	115	347	—	347	△34	312

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に太陽光発電の事業であります。

(注2)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。